

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2024年3月8日（金）15時30分～17時00分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：井田茂，野村英子，勝川行雄，町田真美，鈴木竜二，酒向重行，安東正樹，津村耕司，
廿日出文洋，大朝由美子，金田英宏，吉田直紀，楠瀬正昭，野澤恵，石川遼子，山村一誠
（以上16名，大朝，金田，山村の各理事が遅れて参加となった。）

出席監事：松尾宏、山田亨

欠席理事：百瀬宗武（委任状有）

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。日本学天文学白書の議論のために高橋慶太郎ワーキンググループ代表に出席して頂いた。

I. 確認事項など

- I-1. 議事に先立ち、開始時点で出席者が13名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。
- I-2. 井田会長、野村副会長、松尾監事が署名人となることを確認した。
- I-3. 前回議事録の確認
資料2に基づき、前回（2023年12月27日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

本理事会の各議題は、井田会長より提案され、各担当理事に詳細説明を指示した。

II-1. 新規加入者の承認（資料3、町田）

2023年12月22日～2024年2月29日までに正会員入会申請6名、準会員から正会員への移籍1名、準会員入会申請2名、賛助会員入会申請1団体、2024年度からの正会員入会申請3名、2024年度からの準会員入会申請2名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. ハラスメント防止に対するガイドライン策定について（資料4、石川）

2019年度に行われたアンケート結果、学会内外でハラスメントが減少していないこと、他の学会の状況も見て、男女共同参画委員会からハラスメント防止に対するガイドライン策定が提案された。どのような形式にするか、具体的な内容などに関して、今後継続的に議論することを確認し、進め方については実務理事会で検討することにした。

II-3. 年会開催地について（資料5、勝川）

2025年秋季年会を山口大学にて開催することが提案され、賛成多数で承認された。

II-4. PASJ編集委員の承認等（資料6、安東）

新たに系外惑星分野に対応する編集委員2名の追加、および、6月退任の太陽系観測分野担当の後任1名の編集委員の交代が提案され、賛成多数で承認された。また、本文掲載料に対する正会員値引きの割合を変更する旨が提案され、賛成多数で承認された。

II-5. 職員の雇用関係（資料7、井田）

佐藤事務長の雇用期間延長（2024年4月-2025年3月）が提案され、賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料3、町田）

2023年12月22日～2024年2月29日までに正会員から準会員への移籍8名、正会員退会2名、準会員退会7名があったことが報告された。

III-2. PASJ編集委員会からの報告（資料6、安東）

投稿規定に論文著者に関する規定を追記する改訂がなされたこと、掲載料補助を実施した場合の収支の試算を行ったことが報告された。

III-3. 会費納入と天文月報送付に関わる変更について（資料8、勝川）

海外への天文月報送付の会員負担金の変更、会費未納の方の刊行物発行の取り扱いの変更、会費納入連絡方法の変更に関して報告された。

III-4. 年会実行委員会からの報告（資料9、廿日出）

2024年春季年会（東京大学）は、3月11、12日は企画セッション（3件）を中心とした現地対面開催（オンライン配信有）、13-15日は完全オンラインの通常セッションで行うための準備が進んでおり、2月末の時点で参加登録者869人（現地参加予定436人）であることが報告された。2024年秋季年会（関西学院大学、9月11日-13日）の開催準備も進めている。

III-5. 天文教育委員会からの報告（資料10、大朝）

2024年春季年会で開催する天文教育フォーラム「天文教育・普及にかかわる知見をどのように共有するか」に関して説明された。また、春季年会時に開催されるジュニアセッションに合わせて、主として高校教員・高校生に向けた講演会を開催予定であることが報告された。講師紹介プログラム1件、監修者紹介プログラム1件の紹介を行ったことが報告された。IAU OAE（教育のための天文学推進室）の天文教育コーディネーター（NAEC）日本チームの活動状況が報告された。

III-6. 天文学白書について（資料11、勝川、高橋）

天文学白書委員会を設立する準備と白書の内容に関する議論を継続していること、2024年秋季年会において天文学白書委員会主体で特別セッションを開催する希望があること、天文学白書には科学内容だけではなく、若手育成・研究環境の向上などに関しても含めることを検討中であることなどが報告された。秋季年会での特別セッション開催方法と委員会設置のために次回理事会に内規案と委員構成を提案する必要があることが議論された。

III-7. 年会タスクフォース報告（資料12、野村）

2024年秋季年会から、オンライン講演の受付を開始し、トラブル対応の検討を行っていることが報告された。

III-8. 月報委員会からの報告（資料なし、津村）

2024年4月より月報の印刷費が値上げすること、月報の表紙デザイン料を値上げすること、日本天文学会の委員会活動を報告する記事を募集することが報告された。

III-9. 事務所の近況（資料なし、佐藤）

特に変わらないことが報告された。

[資料リスト]

- 資料1 理事会出欠表
- 資料2 公益社団法人日本天文学会理事会（2023年12月27日）議事録（案）
- 資料3 加入者・移籍の承認、退会者報告（2023年12月22日—2024年2月29日）
- 資料4 日本天文学会・ハラスメントに対するガイドライン策定の提案
- 資料5 天文学会年会(2025年9月)開催地について
- 資料6 PASJ 編集委員会からの議題と報告
- 資料7 事務長/パート職員の雇用期間について
- 資料8 会費納入と天文月報送付に関わる変更
- 資料9 年会実行委員会活動報告
- 資料10 天文教育委員会、前回理事会以降の活動報告(2024年2月29日現在)
- 資料11-1 日本天文学会代議員会提案(2023年9月)
- 資料11-2 日本天文学白書検討ワーキンググループ中間報告書
- 資料12 年会ハイブリッド開催タスクフォース報告

2024年3月8日

会 長： 井田 茂 印

副会長： 野村 英子 印

監 事： 松尾 宏 印